

# 赤穂市民病院（兵庫県）

## 病床数

380床

## 病院の特徴

赤穂市民病院は近畿の西南端、人口5万3千人の“忠臣蔵のふるさと”赤穂市に位置し、380床を有する地域中核病院である。当院では「良い医療を、効率的に、地域住民と共に」という大きな目標を掲げ、開かれた病院づくりを目指しています。これは、中世ヨーロッパの教会や大学、戦後の集会所や公民館が担ってきたコミュニティセンターとしての役割を「病院こそ市民のコミュニティセンターたるべし」との考えに基づき取り組みである。また、院是を「恕（じょ：おもいやり、ホスピタリティ）」と定め、なるべく家庭に近い療養環境、癒しの環境づくりに努めています。

## 医師数

51名（2007年4月1日現在）

## 初期研修医定員 1年次

単独型 5名（2007年実績）/たすきがけ 2名（2007年実績）

## // 2年次

単独型 4名（2006年実績）/たすきがけ 1名（2006年実績）

## 処遇

職名：嘱託員

勤務時間：原則として8:20～17:05 時間外勤務 有

休日：原則として土・日曜日及び法令に規定された休日

休暇：1年（暦年）の間に14日

宿直：当直医と共に月に数回、副直を勤める。

給与：給料月額276,000円

このほか地域手当、時間外勤務手当、期末勤勉手当を支払う

みなし給与（家賃相当額）を含めて 1年目6,500千円相当（年額換算）

2年目7,000千円相当（年額換算）

宿直：研修医宿舎 有

個人負担：月額4,000円（※病院所有研修医宿舎を利用の場合）

保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険

食事：職員食堂 有（有料）

## 研修プログラムの特徴

本プログラムは、地域中核病院である赤穂市民病院の特徴をいかして、プライマリケア、一次および二次救急に対応できる医師としての基本的診療の能力が身に付くよう企画されている。2年間を積み上げ方式とし、内科、外科、麻酔科、救急などの基本的診療科は2年間にわたり研修を行い、脳外科、整形外科など救急疾患の多い科は2年目に各1ヶ月間研修期間を設けています。

## 指導医から学生さんへのメッセージ

当院は病床数は380床と少ないですが、標榜診療科は20科あり、兵庫県西南部の西播磨地域のの中核病院としての機能を果たしています。症例も common disease からめずらしい症例まで幅広くあります。救急車も西は隣の岡山県、東は姫路、北は佐用町までの広域から来るため、研修医にとって救急医療を数多く経験でき、自信をつけることが出来ているようです。中規模病院のよさで科の間の垣根はなく、どの科の研修中であれ他科の医師の指導も受けられるメリットもあります。また管理型としての研修医だけでなく京都大学と神戸大学からのたすきがけの研修医もおり、さらに学生実習も多く引き受けており活気ある研修医生活をおくる事が出来ます。有意義な研修生活をおくるため、とりわけ積極的に研修を行いたい方の応募を期待しております。

## 研修スケジュール（年間）

### ●研修スケジュール(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内						外				救急・麻酔	
2年次	内		小児		産婦人		精	地域医療	選択科目			



いわゆる野戦病院でどんな症例が来るかわからないという点で大変勉強になりました。最初の一年は色々なことが新鮮で、興味を持って高い志で研修に望みやすい時期だと思うので頑張ってください。